

(別紙 1)

令和 6 年度～令和 1 5 年度 社会福祉法人参同会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人参同会		法人番号		3 4 0 0 - 0 5 - 0 5 1 9 5			
法人代表者氏名	今村 圭介							
法人の主たる所在地	鹿児島県出水市美原町 3 1 5 1 番地							
連絡先	鹿児島県出水市美原町 3 1 5 1 番地							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日								
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	令和 6 年 6 月 1 日 令和 7 年 6 月 2 日							
評議員会の承認年月日	令和 6 年 6 月 2 6 日 令和 7 年 6 月 2 5 日							
会計年度別の社会福祉 充実残額の推移（当初） （単位：千円）	残額総額（平成 5 年度末現在）	1 か年度目 （令和 6 年度末現在）	2 か年度目 （令和 7 年度末現在）	3 か年度目 （令和 8 年度末現在）	4 か年度目 （令和 9 年度末現在）	5 か年度目 （令和 1 0 年度末現在）		
	38,330 千円	38,330 千円	38,330 千円	38,330 千円	38,330 千円	38,330 千円		
	うち社会福祉充実 事業費（単位：千円）	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
会計年度別の社会福祉 充実残額の推移 （単位：千円）	6 か年度目 （令和 1 2 年度末現在）	7 か年度目 （令和 1 3 年度末現在）	8 か年度目 （令和 1 4 年度末現在）	9 か年度目 （令和 1 5 年度末現在）	1 0 か年度目 （令和 1 6 年度末現在）	合計	社会福祉 充実事業 未充当額	
	22,790 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		0 千円	
	うち社会福祉充実 事業費（単位：千円）	15,540 千円	22,790 千円	0 千円	0 千円	0 千円	38,330 千円	
会計年度別の社会福祉 充実残額の推移 （変更後） （単位：千円）	残額総額（令和 6 年度末現在）							
	61,620 千円（うち増分 23, 290 千円）	61,620 千円	21,620 千円	21,620 千円	21,620 千円	21,620 千円		

うち社会福祉充実 事業費（単位：千円）		0千円	40,000 千円	0千円	0千円	0千円		
会計年度別の社会福祉 充実残額の推移 （単位：千円）		6か年度目 （令和11年 度末現在）	7か年度目 （令和12年 度末現在）	8か年度目 （令和13年 度末現在）	9か年度目 （令和14年 度末現在）	10か年度目 （令和15年 度末現在）	合計	社会福祉 充実事業 未充当額
		6,220千円	0千円	0千円	0千円	0千円		0千円
うち社会福祉充実 事業費（単位：千円）		15,400 千円	6,220千円	0千円	0千円	0千円	61,620 千円	
本計画の対象期間	令和6年度～令和15年度							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目	障害者支援施設建替事業	社会福祉事業	新規	障害者支援施設北星園建替に係る情報収集・調査研究	無	0千円
	小計					0千円
2か年度目	障害者支援施設建替事業	社会福祉事業	新規	障害者支援施設北星園建替に係る先進事例の視察・資料収集及び土地の取得	有	40,000千円
	小計					40,000千円
3か年度目	障害者支援施設建替事業	社会福祉事業	新規	障害者支援施設北星園建替に係る設計・建築関係専門家から指導助言	無	0千円
	小計					0千円
4か年度目	障害者支援施設建替事業	社会福祉事業	新規	障害者支援施設北星園建替に係る施設整備・資金計画・スケジュール検討	無	0千円
	小計					0千円
5か年度目	障害者支援施設建替事業	社会福祉事業	新規	障害者支援施設北星園建替に係る基本構想	無	0千円
	小計					0千円
6か年度目	障害者支援施設建替事業	社会福祉事業	新規	障害者支援施設北星園建替に係る測量等調査・基本設計	有	15,400千円
	小計					15,400千円

7 か年 度目	障 害 者 支 援 施 設 建 替 事 業	社 会 福 祉 事 業	新 規	障害者支援施設北星園建替に係る実 施設設計	有	44,000 千円
	小 計					44,000 千円
8 か年 度目	障 害 者 支 援 施 設 建 替 事 業	社 会 福 祉 事 業	新 規	障害者支援施設北星園建替に係る施 工管理・工事入札、補助金等申請、 造成工事	有	0 千円
	小 計					0 千円
9、10 か 年 度目	障 害 者 支 援 施 設 建 替 事 業	社 会 福 祉 事 業	新 規	障害者支援施設北星園建替に係る本 体工事	有	792,000 千円
	小 計					792,000 千円
合 計						891,400 千円

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	北星園は、建築後33年を経過し、経年劣化による建物設備の老朽化及び居住・作業環境の改善に向け、建替を進める必要がある。
② 地域公益事業	①を実施すると残額は生じないため実施しない。
③ ①及び②以外の公益事業	① を実施すると残額は生じないため実施しない。

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1 か年度目	2 か年度目	3 か年度目	4 か年度目	5 か年度目	
障害者支援施設建替事業	計画の実施期間における事業費合計	0 千円	40,000 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	社会福祉充実残額	0 千円	40,000 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	補助金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	借入金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	事業収益	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

事業名	事業費内訳	6か年度目	7か年度目	8か年度目	9、10か年度目		合計
障害者支援施設建替事業	計画の実施期間における事業費合計	15,400 千円	44,000 千円	0千円	792,000 千円		891,400 千円
	財源構成						
	社会福祉充実残額	15,400 千円	6,220 千円	0千円	0千円		61,620 千円
	補助金	0千円	0千円	0千円	594,000 千円		594,000 千円
	借入金	0千円	0千円	0千円	0千円		0千円
	事業収益	0千円	37,780 千円	0千円	198,000 千円		235,780 千円
	その他	0千円	0千円	0千円	0千円		0千円

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	障害者支援施設北星園建替事業	
主な対象者	知的・精神・身体障害者	
想定される対象者数	45人	
事業の実施地域	出水市内	
事業の実施時期	令和6年7月1日～令和16年3月31日	
事業内容	北星園は平成4年4月に居住棟（鉄筋コンクリート造屋根平屋建延べ床面積1718.98㎡）及び作業等（108.47㎡）、入所定員50名で開設され、その後、改修等を行い、現在、施設入所支援40名、短期入所事業4名、生活介護事業50名の定員を以って運営している。 建物設備は、建築後33年を経過し老朽が進むとともに、利用者の障害特性、高齢化また、プライバシー保護の観点から居住環境や作業環境を整える必要がある。 このようなことから、現在より10年後の令和15年度を目途に、居住棟建物の建替整備を計画する。	
事業の実施スケジュール	1か年度目	障害者支援施設北星園の建替に係る情報収集・調査研究
	2か年度目	障害者支援施設北星園の建替に係る先進事例の視察・資料収集及び土地の取得
	3か年度目	障害者支援施設北星園の建替に係る設計・建築関係専門家から指導助言

	4 か年度目	障害者支援施設北星園の建替に係る施設整備・資金計画・スケジュール検討
	5 か年度目	障害者支援施設北星園の建替に係る基本構想
	6 か年度目	障害者支援施設北星園の建替に係る測量等調査・基本設計
	7 か年度目	障害者支援施設北星園の建替に係る実施設計
	8 か年度目	障害者支援施設北星園の建替に係る施工管理・工事入札・補助金等申請・造成工事
	9、10 か年度目	障害者支援施設北星園の建替に係る本体工事
事業費積算 (概算)	土地の購入	40,000 千円
	基本設計	15,400 千円
	実施設計	44,000 千円
	管理業務	22,000 千円
	本体工事	770,000 千円
	合 計	891,400 千円
	合計	891,400 千円 (うち社会福祉充実残額充当額 61,620 千円)
地域協議会等の意見と その反映状況	地域公益事業を行わないため、特に意見聴取無し	

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

経年劣化が著しく、老朽化が進む北星園は、10年後を目途に既存建物の建替整備を予定しており、5か年の計画実施期間後に社会福祉充実残額の使途について、事業計画が定まっていること。これまで、建替整備に要する資金積立は行っていない実情や将来の建替整備を勘案すれば、社会福祉充実残額を5か年度の計画実施期間内に消費することは合理的でないため。